

平成21年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
 1項 商業費
 2目 商業振興費

経済・雇用政策総室（内線：7890）→事業実施：経済通商総室
 （単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起 債	そ の 他	一般財源	
「鳥取県経済・雇用振興キャビネット」運営事業	2,976	2,639	337				2,976	
トータルコスト	21,596千円（前年度18,244千円）							
従事する職員数	正職員：2.1人							
主な業務内容	キャビネット及びワーキンググループの開催、運営							

事業内容の説明

1 事業の概要

圏域（東・中・西部）の経済産業が抱える問題について、現場の第一線で活躍されている企業の方々と意見交換を行い、県の経済産業施策と一緒に考えていく場として圏域ごとに「鳥取県経済・雇用振興キャビネット」を設置、運営する。

2 事業内容

- (1) キャビネット全体会（スタートアップ会）の開催【新規】
 全キャビネット委員（全ワーキンググループ委員）に一堂に参集いただき、知事等と意見交換を行うことで、キャビネットの目的、県内の経済産業の課題の認識を図り、ワーキンググループの議論の参考としてもらう。（年度当初に開催）
- (2) キャビネットの開催（各圏域で開催）
 圏域ごとのワーキンググループ委員で構成。
 ワーキングの議論の報告や意見交換など、ワーキンググループの議論の進捗状況により、年1～2回程度開催する。
- (3) ワーキンググループ（WG）の開催
 圏域の課題をより絞り込んで議論を行うため、圏域ごとにキャビネット委員で構成する5名程度のワーキンググループを1～2設置し、個別のテーマについて具体的な施策検討を行う。
 議論の進捗状況により、年3～4回程度開催する。

3 参考（スケジュール予定）

4月	テーマ設定、委員選任、委員決定
5月	キャビネット全体会開催
6月～11月	各ワーキンググループ開催

※キャビネットはワーキンググループの議論の進捗状況に応じて開催

